

SU-H

HARMONY service unit

取扱説明書



CARIMALI
MACCHINE PER CAFFÈ DAL 1919

目次

安全上のご注意	3
主な仕様	6
各部の名称	7
付属品	8
始動方法	8
抽出方法	9
熱湯抽出量の調整方法	9
オプションミルカー　ミルクチューブ絞りの使用について	10
ミルカーの清掃方法（毎日のお手入れ）	10
ミルカーの清掃方法（週1回のお手入れ・分解浸け置き）	11
警告（アラーム）について	12
特別なメンテナンス及び使用上の注意	13
保証とアフターサービス	14

安全上のご注意 (安全に関する重要事項です必ずお読み下さい) 本製品を使用する際には、ご使用前に安全上のご注意をよくお読みになり正しくお使い下さい。

警告 表示されているマークの説明

 **警告** この表示は誤った取扱いすると人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

 **注意** この表示は誤った取扱いすると人が傷害を負ったりその他の人的物的損害が起ったりする可能性があることを示しています。

一般的な注意事項

警告

- 製品の分解や修理は認定されたサービスマン以外では絶対に行なわないで下さい。修理や分解組立が正しく行なわれないと、製品が正常に作動せずに水漏れや感電や火災などの原因となります。また、本体を改造することも絶対に行なわないで下さい。水漏れや感電や火災の原因となります。
- 異常が発生した場合には、速やかに電源スイッチを切り本体の電源コードを抜いてください。そしてすぐに販売店もしくはサービスセンターに連絡をして下さい (電源コードを抜く時には感電をしたり火傷をしたりしないようにして下さい。)
- 本体の内部にある部品や電気配線や配管などには手や体を接触させないで下さい。火傷や感電の原因となります。
- この製品が原因でサーキットブレーカーや漏電遮断機が作動をした可能性があるときには速やかに電源を切り、販売店もしくはサービスセンターに連絡をして下さい。そのままで使用すると感電や火災などの原因となります。
- 本体に水がかかったり付近でガス漏れの可能性があったりする場合には直ちに使用を止めてください。ガス漏れの際には使用されているガス器具の注意事項に従って引火や爆発の危険を避けてください。
- 製品を移動する場合には、電源につながれていないこと、本体内部に水が無く十分に冷えていることを確認して行なってください。火傷や感電の原因となります。

注意

- 電気製品を使用する際には火事、感電、怪我の危険を避けるために、常に安全のための基本的な注意事項を守ることが大切です。電気製品を取り扱う際の一般的な注意事項に従ってご使用下さい。
- 製品の点検やお手入れをする時には、必ず主電源を切り電源コンセントを抜いて行ってください。感電や火傷、怪我の原因となります。
- 電源コードをコンセントへ抜き差しする時には電源コードの取扱いに十分に注意して下さい。また、電源コードに人や物が絡まったり、踏いたり、踏まれたりしないようにして下さい。感電や火災や怪我の原因となります。
- 長時間製品を使用しないときには、本体の電源スイッチを必ず切ってください。また電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 専用コンセントをお使いの場合にはコンセントを電源から抜いてください。
- 表面が熱くなっている部分には触れないで下さい。火傷や怪我の原因となります。
- 火事、感電や怪我を防ぐために電源コード、プラグや電気製品を水や液体に浸さないで下さい。
- 子供が電気製品を使用するときは十分に子供を監督し、子供の近くで電気製品を使用する時には細心の注意を払って下さい。
- 部品の取付け、取り外し又は清掃をする時には十分に温度が下がった状態で行なって下さい。
- コードやプラグが傷んでいたり正常に動かなかったりした時には作動をさせないで下さい。
- 付属品以外のものを使用しないで下さい。火事、感電や怪我の原因になることがあります。
- 野外では使用しないで下さい。
- 電源コードが卓上、カウンター上又は表面が熱くなる場所の上などに垂れ下がらないようにして下さい。
- ガスコンロ、電熱器や熱くなったオープンの上やそばに置かないで下さい。
- マシンの電源スイッチをOFFにしてから電源コンセントからプラグを取り外して下さい。
- 本来の目的以外には使用しないで下さい。
- スチームやお湯が抽出されている時には十分に注意して下さい。火傷や怪我の原因となります。
- このマシンは 業務用のマシンです。

設置及び据付時の注意事項



- 本体に供給する電源の工事を行う場合には電気設備工事の専門技術者が行き、電源の容量が不足したり設備工事に不備が無いようにして下さい。感電や火災の原因になります。
- 据付を行なう時には本体の電源コードが損傷をしたり、無理な配線をしたりしないようにして下さい。電源コードが傷んだままで使用をすると感電や火災の原因になります。

注意

- 設置及び据付を行なう際には本体を落下させたり倒したりしないで下さい。落下や転倒などにより怪我の原因となります。
- 据付をする場所は平坦で水平な場所で、十分に製品の重量に耐えられる場所に設置してください。不安定な場所に設置をすると落下や転倒などにより怪我の原因となります。
- 天然木や天然石の上に置く場合には、マシンの洗浄中に水滴や飛沫が飛散して表面を汚したり変質の原因となることがあります。水や洗浄液飛沫がついても影響の無い材質の上に設置をし、直接当たらない様に保護を行なってください。
- 設置周辺温度が 45℃以上になる場所、直射日光が常に当たる場所、埃や塵が多い場所、湿気が高い場所、振動がある場所などには設置をしないで下さい。内部の電気部品などの故障の原因となります。
- 本体の周囲に熱がこもらない様に周囲の壁や家具や機器などから10cm以上離して設置してください。熱がこもると電気部品などの故障の原因となります。
- 凍結の恐れがある場合にはマシン内の水を抜いて下さい。

使用環境条件

気温： 5 – 45℃(凍結の恐れがある場合にはマシン内の水を抜いて下さい。)

湿度： 80% 以下

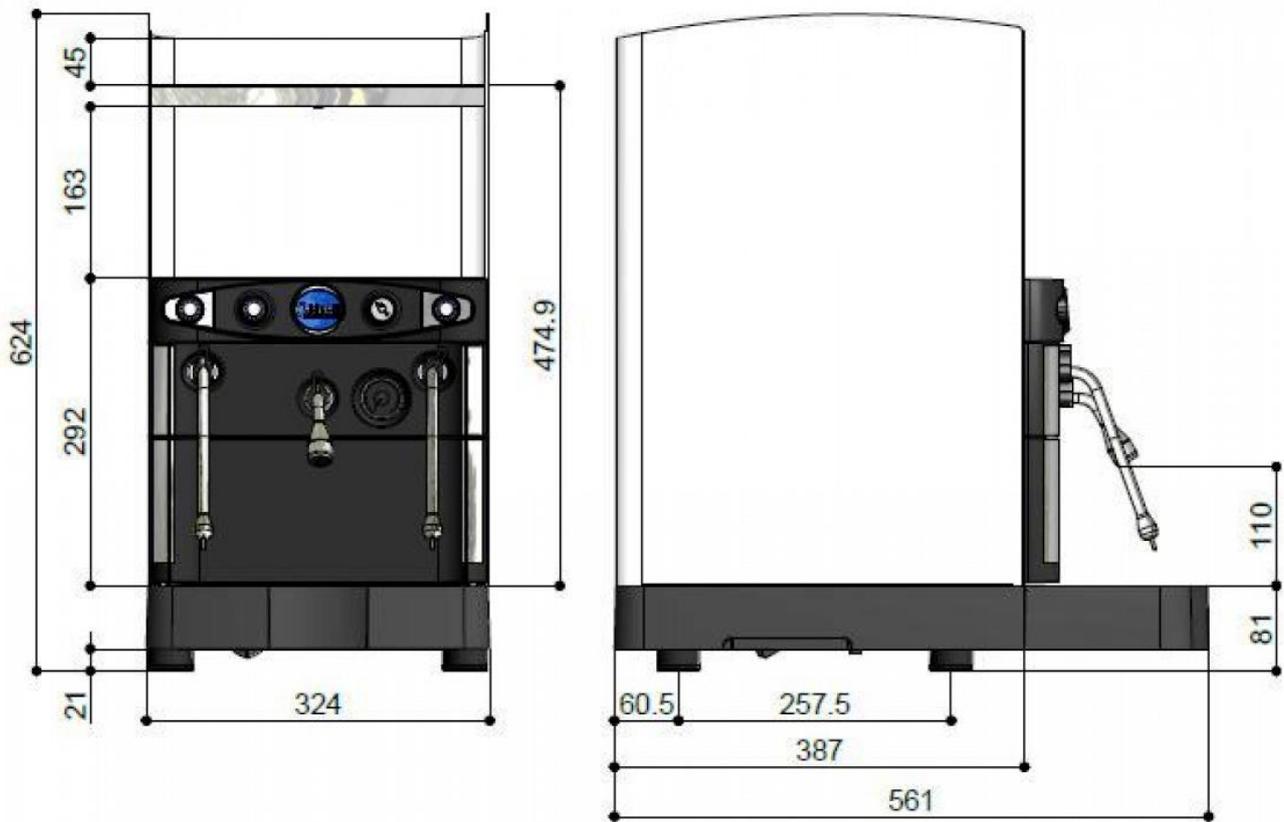
- お湯でなく必ず水を給水してください。
- 水以外の飲料(例えばミルクなど)やミネラルウォーター類は使用しないで下さい。

操作を行なう時の注意事項

警告

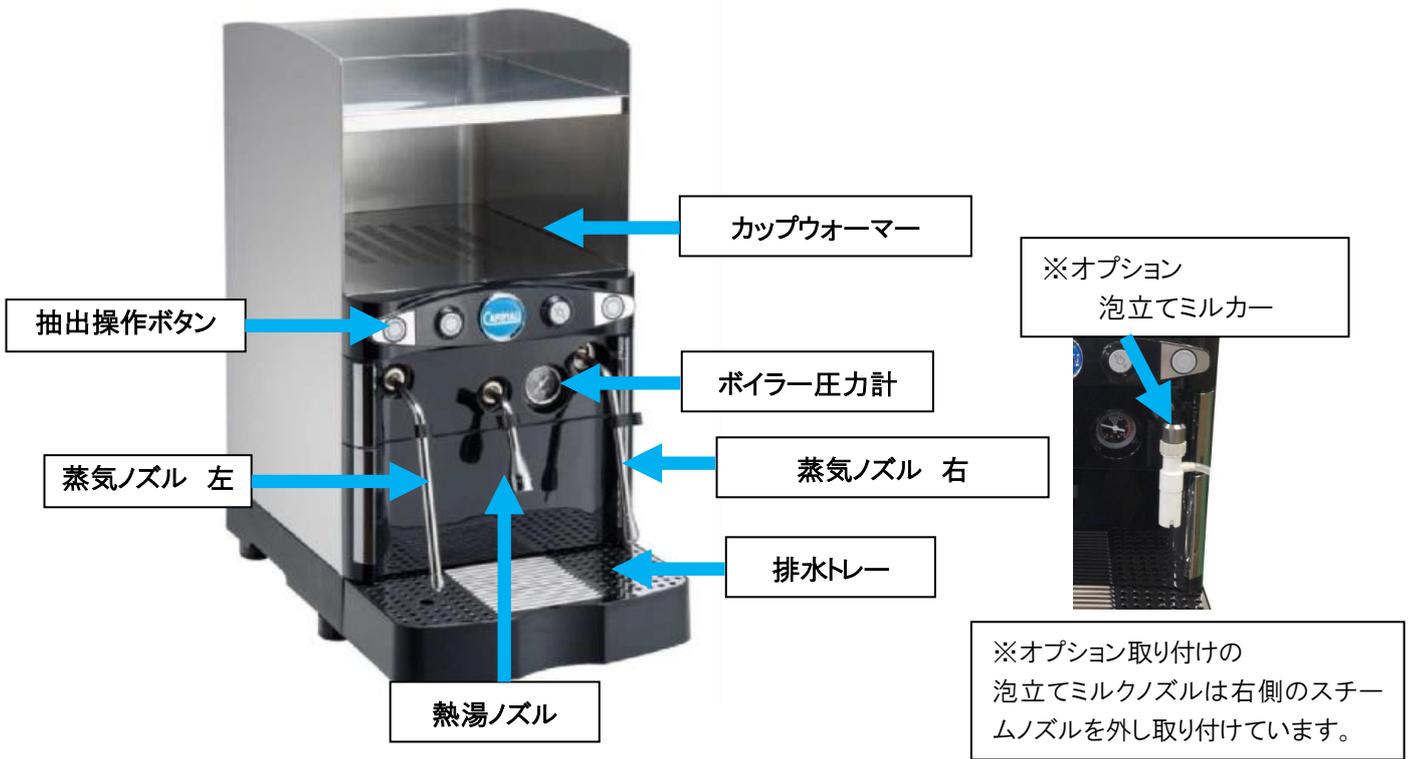
- スチームや熱湯の抽出操作を行なう前にはノズルの向きに注意をして下さい。火傷や怪我の原因になります。また、使い終わった時には誤操作により噴出した熱湯やスチームを浴びないようにノズルの位置を排水トレイ方向に向けてください。
- 顔や手に熱湯やスチームがかからないよう、ノズルの位置に常に注意をして取扱いを行なってください。
- スイッチや電源プラグを水に濡れた手で操作をしないで下さい。感電の危険性があります。
- ミルクシステムの洗浄は規定どおりに実施してください。洗浄を行わず放置しておくとミルク系統内に残ったミルクに細菌が繁殖して衛生状態を悪化させます。

主な仕様



項目	仕様
幅 (mm)	324
高さ (mm)	624
奥行 (mm)	561
満水重量 (kg)	30
ボイラー容量 (リットル)	6.5
熱湯ノズル(中央)	1
蒸気ノズル(左右)	2
定格電圧	単相 200V
電気容量	2,100W 10.5A
初回沸き上がり時間	約 15~20 分
給湯能力	22L / h
泡立てミルクカー ※オプション	蒸気ノズル右の代わりに装着

各部の名称



抽出操作ボタン



抽出ボタン	機能	抽出機能
①	蒸気ボタン 左	手動抽出
②	熱湯ボタン	抽出湯量設定可能
③	電源ボタン	
④	蒸気ボタン 右 / 泡立ちミルク ボタン	手動抽出

※手動抽出……ボタンを押すと抽出が始まり、止めたいところでもう一度同じボタンを押します。

付属品

	SU-H	
給水ホース	1	マシンに取付けてあります。
排水ホース(150cm)	1	マシンに同梱されております。
排水ホース バンド	1	



始動方法

はじめに水道元栓が開いていることとコンセントが電源に差込まれていることを確認して下さい。

1. 電源スイッチを入れる

本体正面の抽出ボタン③を押します。
自動的にボイラータンクに給水を行います。
自動給水が終わりますと自動的にヒーターの電源が入り
沸き上げを開始します。



電源 OFF 状態



電源 ON 状態



※沸き上げ中、ボイラー内に溜まった空気を抜くため、約 8 分後、自動的に蒸気噴出ボタンが 2 回作動します。ノズル付近に手を近付けない様にご注意ください

2. ウォームアップの完了

約 15～20 分経ちますと、ボイラーが沸き上がり圧力メーターのゲージが適正値を示します。
適正値は、**圧力ゲージの針が 1.0 bar 以上**を示します。
ボイラー圧力は最大 1.2bar～1.3bar で設定しており設定圧力になりましたらボイラーの加熱は停止されます。



圧力メーター



抽出方法

(1) 熱湯抽出

熱湯抽出口の下にカップを置き、抽出ボタン②を押します。

抽出ボタンを押すことにより熱湯抽出口から設定した量の湯が抽出します。

※湯量はボイラー圧力に影響しますので、ボイラー圧力が適正值の時に抽出して下さい。

(2) 蒸気抽出

飲料(牛乳など)の加熱は次のように行います。

蒸気ノズルを飲料に差し入れ、抽出ボタン①を押します。

抽出ボタンを押す事により蒸気ノズルから蒸気が噴出します。

飲料が温まりましたら、抽出ボタン①を押す事により蒸気が止まります。

使用後は、抽出ボタン①を押してノズル内に入った液体を空吹かします。

※これは、牛乳等の飲料がボイラーまで吸い込まれてしまうのを防ぐために非常に重要な操作になります。

注意)  蒸気は非常に熱いので十分に注意してください。
ノズルは非常に熱いので、黒いつまみを持つようにしてください。

(3) 泡立ちミルク抽出 (オプションの泡立ちミルカー仕様の場合。事前に装着が必要です)

ミルク抽出口の下にカップを置き、抽出ボタン④を押します。

抽出ボタンを押す事によりミルク抽出口から泡立ちミルクが抽出します。

抽出を止めたいところでもう一度、抽出ボタン④を押す事により抽出が止まります。

熱湯抽出量の調整方法

熱湯抽出量のプログラム(ボイラーの圧力メーターが 1.2bar~1.3bar の時に行って下さい)

1. 抽出ボタン③を押し、電源を切ります。
2. 抽出ボタン②を押しながら、抽出ボタン③を長押しします。



3. 抽出ボタン②のランプが点滅を始めたら抽出ボタン②を押して抽出を始めます。
4. 抽出量が適量になりましたらもう一度同じボタンを押して抽出を止めます。
5. 調整が終わりましたら、抽出ボタン③を押します。
6. 自動的にメモリーに記憶されます。

ミルクチューブ絞りの使用について（オプションのミルクカー装着の場合）

ミルク吸入用チューブには流量を調整する調整つまみが付属しております。
調整つまみを開閉する事で、抽出温度やミルクの泡立ち具合を調整できます。



注意  調整つまみを開閉するとミルクのクオリティー(温度や泡立ち)に影響しますので、開閉した場合は元の調整位置に戻して下さい。

※洗剤が皮膚や目に直接触れないよう、安全の為ゴム手袋や保護メガネの着用をしてください。

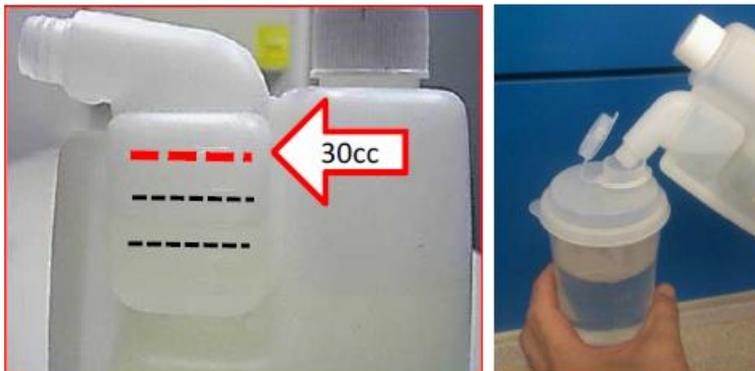
ミルクカーの清掃方法(毎日のお手入れ)

ミルクカーとミルクの抽出チューブ洗浄を行います。

目的	改善されるトラブル	必要用具・洗剤
抽出チューブのつまり防止 衛生管理	ミルクの泡立ち不足	ミルクチューブクリーナー 洗浄用計量ボトル

1. ミルクチューブクリーナーを用意して、洗浄用計量ボトルに洗浄溶液を作ります。

※洗浄溶液はミルクチューブクリーナー30cc+水 300cc



2. ミルクチューブを洗浄用計量ボトルにセットします。



- 抽出ボタン④を押して洗浄溶液が無くなるまで抽出します。
- 洗浄溶液が無くなりましたら、ボトルを洗浄し水を 300cc 入れミルクチューブをボトルにセットします。
- 抽出ボタン④を押してすすぎを行います。
- ボトルの水が無くなりましたら、洗浄は終了です。

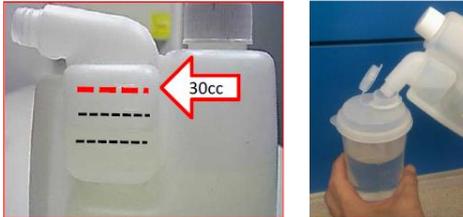
ミルカーの清掃方法(週 1 回のお手入れ 分解浸け置き)

ミルカーを分解して、細部の洗浄と部品の確認を行います。

目的	改善されるトラブル	必要用具・洗剤
ミルクの泡立ち品質維持 衛生管理 Oリングの摩耗・欠損の確認	ミルクの泡立ち不足 ミルクの泡立ちが荒すぎる ミルクの抽出量が少ない	ミルクチューブクリーナー 洗浄用計量ボトル 洗浄用ブラシセット

1. ミルクチューブクリーナーを用意して、洗浄用計量ボトルに洗浄溶液を作ります。

※洗浄溶液は、ミルクチューブクリーナー30cc+水 300cc



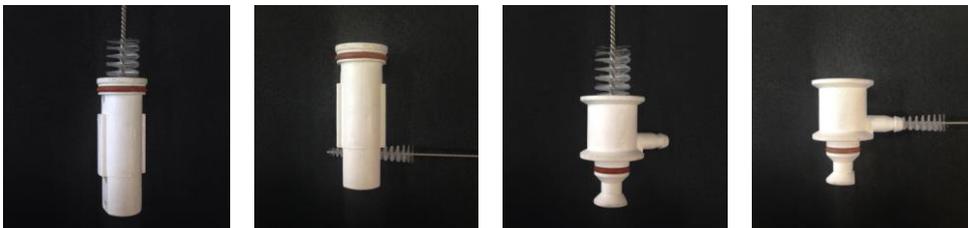
2. ミルクチューブをミルカーの根元より外し、マシンからミルカーを取り外します。



3. ミルカーを 3 つに分解して、準備した洗浄溶液に一晩浸します。



4. 洗浄溶液に浸したミルカーを水で良く洗い流し、洗浄用ブラシで各パーツの穴や内側を清掃します。



5. 清掃が終わりましたら、ミルカーを組立ててマシンに取付けます。



6. ミルクチューブを取付けて洗浄は終了です。

警告(アラーム)について

マシンに何らかの異常(エラー)があった場合、抽出ボタンのランプが点滅して警告(アラーム)をお知らせします。



点滅する理由

給水異常	1. マシンに繋がる給水の元栓が閉まっている。
	2. 浄水器の目詰まりによる給水異常。
	3. 給水圧力が弱く、ボイラー内へ給水されない。
	4. 上記以外の何らかで給水されない。
温度異常	1. 温度センサーが規定値を感知できない。

各警告(アラーム)

■ 給水異常

ボイラーへの給水動作で 120 秒を経ってもセンサーに水位が満たない状態。

マシンの状態： 抽出ボタン①～④全ての青ランプが点滅します。

■ ヒーティング異常

ボイラーの温度が規定時間内にプログラムされた設定値に達しません
始動の 30 分間または、稼働中のリカバリーにて 5 分間の加熱。

マシンの状態： 抽出ボタン①～④のランプが左右に流れる様に点滅します。
抽出ボタン③(電源)は、赤となりマシン OFF となります。

これらの項目を確かめて、電源を切り切りして、もう一度試して下さい。
再び、抽出ボタンが点滅を行う場合は、弊社コールセンターにご連絡ください。

特別なメンテナンス及び使用上の注意事項

◆ 特別なメンテナンス

スチームマシンを正しい状態で使用するためには、軟水器/浄軟水器(水の硬度を下げる)のご利用、消耗品の定期的交換(有料)をお薦めします。

消耗パーツの交換次期は次の通りです。

- ・ スチームノズルのジョイント部分のガスケットを、6～12 ヶ月毎に交換する。

上記メンテナンスは、メーカー指定のサービス業者がメンテナンスを行います。

◆ 使用上の注意事項

1. 蒸気ノズルを使用した後は空吹きを行い、布巾等を使い必ず付着した飲料(牛乳など)を拭き取って下さい。蒸気ノズルの目詰まりの原因になります。
2. 排水トレーにミルクや紅茶の茶葉などを絶対に流さないで下さい。排水詰まりの原因になります。
3. カップウォーマーに濡れたままのカップを置かないで下さい。水滴がマシン内に落ちると故障の原因になります。

保証とアフターサービスについて

1. 保証書

- 本書に添付しています。
- 保証書は「お買い上げ日」の記入をお確かめのうえ、お受け取りください。
※記入が無い場合でも、お買い上げ日を証明する書類がある場合は、本保証書と一緒に保管してください。
- 保証書記載の修理規定をよくお読みになり大切に保管してください。

2. 修理を依頼されるとき

取扱説明書の内容をお確かめいただき、不具合が直らないときは電源プラグをコンセントから抜き、当社に修理についてご相談ください。

- 保証期間中の修理
保証書の規定により無料修理致します。お買上げの販売店または当社までお申し出ください。
- 保証期間経過後の修理
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理をさせていただきます。当社にご相談ください。
- 販売店が独自に定める延長保証(長期保証)サービスをご利用の場合
お買い求めの販売店にご相談ください。

コールセンター

ブルーマチックジャパン株式会社

045-947-0804

受付時間:365日 24時間
※夜間については、受付業務のみとさせていただきます。

3. アフターサービスについてご不明な場合

- アフターサービスについてのご質問等ありましたら、当社にお問合せください。

アフターサービスを依頼される場合は次の内容をご連絡ください。

- | | |
|-------|---------------------|
| ●お名前 | ●商品名 |
| ●ご住所 | ●製造番号 |
| ●電話番号 | ●故障の状態、状況(出来るだけ詳しく) |

ご使用の際の注意事項

コーヒーマシンを常に最適な状態に保つために、定期的な清掃作業を行ってください。

清掃作業は取扱説明書に従い、適切に洗浄してください。

使用開始前及び終了後は取扱説明書に従い洗浄してください。

使用中に取扱説明書に書かれていない不具合が発生したら直ちにご使用を止め、当社へご連絡ください。

補修用性能部品の保有期間について

当社では、補修用性能部品について、最終輸入日から5年間保有しております。

※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

保 証 書 (業務用スチームマシン)	
型 名	カリマリ社製 スチームマシン SU-H
シリアル番号	
保証期間	ご購入時または設置の早い方の日から1年間
※お買い上げ日	年 月 日
※ お 客 様	お 名 前
	住 所 〒 電話 ()

- ※印欄に記入の無い場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。
- 本保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

■対象マシン

本保証書に記載のマシン。

■サービス提供

「出張修理」

■保証サービス規程

ブルーマチック保証サービス（以下「本保証」といいます。）は、商品のご購入または設置の早い方の日から開始され、ブルーマチックジャパン株式会社（以下「ブルーマチック」といいます。）がサービスを運営・提供します。保証書に記載された製品（以下「本製品」といいます。）について、「保証サービス規程」（以下「本規程」といいます。）に定めるところに従い、無償修理（以下「保証修理」といいます。）を提供します。

第1条. 保証範囲

1. 本保証は、本製品の取扱説明書や注意書に従って正常に使用したにもかかわらず、本製品に生じた電氣的・機械的故障で目つ、本製品のメーカー保証規定にて保証対象となる故障（以下「自然故障」といいます。）を対象とします。
2. 第10条で定める「保証の適用除外事項」に該当する場合には、自然故障であっても本保証の対象外とします。

第2条. 保証期間

本保証が効力を有する期間は、本製品のご購入または設置の早い方の日から開始し、その後1年間が経過した時点で満了いたします。（以下、この期間を「保証期間」といいます。）保証期間内において本製品に係る修理回数が制限はないものとします。保証期間内に初期不良等によりブルーマチックより交換品（新品）が提供された場合、その他事由の如何を問わず、保証終了日は変更されないものとします。

第3条. 保証内容

保証期間内に本製品に自然故障が発生した場合には、当該自然故障に係る保証修理に要する金額が、購入金額を超えない範囲で保証修理を行います。（以下、「上限金額」といいます。）なお、修理見積りが上限金額を超えた場合は、差額をご負担いただくことで修理いたします。保証上限金額は消費税込の金額となります。本製品は、ブルーマチックが規定する出張修理対象製品であるため、出張修理での保証修理を行います。この場合の出張料は本保証に含まれます。

第4条. 保証の終了

以下の事項に該当する場合には、本保証は終了となります。

1. 第2条に定めるところに従い、保証期間が満了した場合。
2. メーカーの倒産、事業撤退、修理部品の供給停止、その他メーカーがその責任により本製品の修理を行わず、又は修理のための部品等の供給を行えない状態となった場合（事業承継等により、メーカーと同水準・同条件にて修理を行う者が存在する場合、又は代替品の提供が可能な場合は除く。）

第5条. お客様のご負担となる主な費用

以下に定める事由のないし費用は、本保証には含まれておらず、専らお客様のご負担によるものとします。但し、本保証の範囲外の事由のないし費用を、これらに限定する趣旨ではありません。

1. 本製品の修理方法を問わず、ブルーマチックジャパンの定める離島及び遠隔地の場合における、保証修理に要する交通費・宿泊費 等。
2. 本製品の設置・工事費用及び本製品の処分に係る費用。
3. 本保証利用時にお客様からのご連絡に必要な費用、その他通信費用。
4. 本保証の対象外となる故障及び当該故障の修理に必要な費用。
5. 本保証の対象外となり、保証修理をキャンセルされた場合に必要となる技術費用、出張費用、物流費用、見積費用等の一切の費用。
6. 修理以外の点検費用や消耗品を使用した場合の費用。

第6条. 保証修理の依頼方法

保証期間内に本製品に自然故障が発生した場合には、お客様は、ブルーマチックコールセンター（下記記載）に連絡して保証修理をご依頼ください。保証修理受付時に、保証修理手順の手順をご説明しますので、説明手順に従ってください。

ブルーマチックコールセンター045-947-0804

1. お客様による保証修理のご依頼をいただいた際、ブルーマチックコールセンター、お客様の保証に関する保証登録情報（製品情報及び個人情報）の確認をいたします。お客様より保証修理依頼に際してご通知いただいた情報と登録情報との間に相違があった場合、その他お客様より必要な情報のご通知をいただけない場合には、本保証が提供されない場合がございますので、お客様におかれましては、本保証の加入後、保証書（必要情報が記載されております。）の保管・管理に十分ご注意くださいようお願いいたします。
2. ブルーマチックが必要と判断した場合に本製品に係る記憶装置のデータの消去を行うことについては、お客様には事前にご同意いただいているものとし、何ら異議を述べないものとします。
3. お客様のご都合により、修理受付日から1カ月経過しても修理の着手ができない場合には、修理受付を無効とします。

第7条. 登録情報の変更

以下の場合には、お客様におかれましては、速やかにブルーマチックコールセンターまでご通知ください。ご通知いただけなかった場合には、本保証が適用されない場合があります。なお、保証書に記載されたお客様情報の変更は、保証書に記載されたお客様から、ご通知いただいた場合に限り承ります。

1. 保証期間中に加入者名の変更や連絡先電話番号、住所等の変更がある場合。本規程をご説明の上、お客様より新しい所有者の情報をご通知ください。系列店の譲渡のみ所有者情報変更を承ります。本製品の第三者への転売や譲渡をされる場合には、本保証は終了となります。

第8条. 個人情報の使用

ブルーマチックは、お客様よりご提供いただいた保証項目、個人情報等を保管、使用、処理の上、本保証を提供します。また、本保証を提供する為、以下の場合に限り、ブルーマチックの責任において、事業協力会社（メーカー・修理会社・販売店・金融機関等）へお客様の個人情報を提供します。

1. 保証修理（代替品の提供を含む。）に際してブルーマチックと事業協力会社による個人情報の共有が必要となる場合。
2. 本保証およびその他のサービスの品質向上を目的として、お客様に電子メール、郵便物によるアンケート調査。
3. サービス案内およびキャンペーン等の実施。
4. 本保証の品質向上を目的として、お客様における本保証の利用に関する情報を収集し分析すること。
5. 個人情報の取扱いの全部または一部を委託する場合があります。
6. ご提供いただいた個人情報を同意なしに第三者へ提供することはありません。

お客様からの求めにより、ご提供いただいた個人情報について、その利用目的の通知、開示、追加訂正または削除、利用の停止消去および第三者への提供の停止（以下「開示等」といいます。）に応じます。

第9条. 間接損害

本保証に関する法律上の請求において、間接損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失等）、特別損害、付随的損害、拡大被害、他の機器や部品に対するデータの損失又は損傷、第三者からの賠償請求に基づく損害、身体障害（障害に起因する死亡及び怪我を含む。）並びに他の財物に生じた損害に関して、ブルーマチックは一切の責任を負わないものとします。但し、ブルーマチックの故意又は重過失によるものがある場合には、この限りではありません。

第10条. 保証の適用除外事項

以下の事項に該当する場合には、本保証は適用されないものとします。

1. お客様又は第三者の故意若しくは過失又はメーカー保証の対象外である加工、改造、修理、設置、工事若しくは清掃に起因する故障及び障害。
2. 使用する水質、水圧等の不良が原因で発生した故障及び損傷。
3. 取扱説明書、注意書に記載している取扱方法とは異なる不適切な使用（日常のお手入れ、改造行為、増設、電池漏洩等）等、取扱いが不適当であることに起因する故障及び損傷。
4. メーカーが定める想定された用法を超える過酷な使用に起因する故障及び損傷（車両、船舶への搭載、高温、高湿度等の特殊な環境での使用を含む。）。
5. 破損、落下、衝撃、火災、落雷、過電流、異常電圧、塩害、公害、水害、地震、その他天災地変や、異物の混入（金属、カビ、塵、埃、虫、鼠 等）の外部要因事由に起因する故障及び損傷。
6. 消耗品（浄水カートリッジ、クリーナー、フィルターペーパー、パッキング、ガスケット、電池、等ブルーマチックジャパンが指定する部品）の交換に係る費用。
7. 消耗品単体の故障及び損傷。
8. メーカー指定外の消耗品の使用に起因する故障及び損傷。
9. 盗難、紛失、その他の事由により、お客様が本製品を保有しておらず、本製品の状態が確認できない場合。
10. 経年劣化あるいは使用消耗により発生する現象で、通常使用に支障の無い部分で経年劣化の範囲に相当するもの（外装品、塗装面、メッキ面、樹脂部分、スプリング等のヘタリ、自然退色、劣化、錆、腐食、カビ変質、変色、その他類似の事由等）。
11. 本製品の機能及び使用の際に影響の無い損害（外観、傷、液晶の画面焼けやピクセル抜け及び輝度低下を含む）。
12. 本製品の仕様、構造上又は本来的性質に基づく制限、不利益等。
13. 本製品の付属部品、アクセサリー、周辺機器等の本製品以外の製品の故障、増設機器等の相性に起因する故障及び不具合。
14. ブルーマチックが保証修理の依頼を受けた本製品の点検・診断を実施した結果、故障の存在を確認できなかった場合。
15. 本保証の対象外に起因する故障であることが判明した場合の修理技術費用、部品代金、出張費用、物流費用、修理見積費用等。
16. 修理を伴わない調整（味や量、ミルク泡立ち、メニュー変更や追加）、清掃。
17. お客様ご自身で付加されたラベル・シート・カバー類、塗装・刻印等を元の状態に復旧する費用。
18. 本製品を日本国外に持ち出された場合の日本国外からの保証修理依頼。
19. 国又は公共団体の公権力の行使に起因する故障及び損傷。
20. 核燃料物質若しくは核燃料物質による汚染された物の放射性、爆発性その他の有害な特性に起因する故障及び損傷。
21. 戦争（宣戦の有無を問わず）、外国の武力行使、革命、内乱その他これらに類似の事変に起因する故障及び損傷。
22. 本製品の損害に係る申告内容の真実性について明らかな疑義がある場合。
23. 本製品と異なる製品（シリアル番号等が異なる場合等）の修理をご依頼された場合や、本製品のシリアル番号が確認できない場合（但し、製品の内蔵データ等から本製品と同一と確認ができる場合を除く。）

第11条. 本保証の解約

本保証は加入後から保証期間終了までの間、解約することは出来ません。

第12条. 解除

ブルーマチックは、お客様が、次のいずれかに該当する場合には、お客様に対する書面による通知をもって、本保証を解除することができます。

1. 暴力団、暴力団員（暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者を含む。）、暴力団準構成員、暴力団関係企業その他の反社会的勢力（以下「反社会的勢力」といいます。）に該当すると認められること。
2. 反社会的勢力に対して資金等を提供し、又は便宜を供与する等の関与をしていると認められること。
3. 反社会的勢力を不当に利用していると認められること。
4. 法人である場合において、反社会的勢力がその法人の経営を支配し、又はその法人の経営に実質的に関与していると認められること。
5. その他反社会的勢力と社会的に非難されるべき関係を有していると認められること。

前項の規定による解除が自然故障の後になされた場合であっても、前項各号の事由が生じた時から解除がなされた時まで発生した自然故障については、保証修理を行いません。この場合において、既に保証修理を行っていた時は、ブルーマチックは、当該保証修理費用相当額の返還を請求することができます。

第13条. その他の注意事項

1. 故障並びに損害の認定等についてブルーマチックとお客様の間で見解の相違が生じた場合には、ブルーマチックは、中立的な第三者の意見を求めることができます。
2. 修理依頼品において、返却可能日をお知らせしている場合（お客様の都合でお知らせできない場合を含む。）、依頼をお受けした日から3ヶ月を経過してもお受け取りいただけない時は、ブルーマチックにて処分します。その際には修理費用（キャンセルに伴う一切の費用を含む。）に加え、処分に要した費用の一切を、ブルーマチックの請求に従い速やかにお支払いいただくものとします。
3. お客様は、本製品をご購入または設置いただいた時点で、本規程にご同意いただいたものとします。

第14条. 本規程の変更

1. ブルーマチックは、本規程の目的に反しない限度で、法令に従って本規程を変更することがあります。
2. 前項に基づき本規程を変更する場合には、ブルーマチックのホームページへの掲載その他適切な方法により、変更内容及び変更時期を事前にお客様に周知することとします。

輸入代理店
ブルーマチックジャパン株式会社
神奈川県横浜市都筑区仲町台5-4-22



ブルーマチックジャパン株式会社

本社：〒224-0041 神奈川県横浜市都筑区仲町台 5-4-22

<http://www.brewmatic.co.jp/>



240510